
キタムラ、モール間でネット店舗自動連携しコスト削減

Edited By LogisticsToday On 2015/10/05

アピリッツ（東京都渋谷区）は5日、キタムラが運営する「カメラのキタムラネットショップ」に在庫・受注・商品情報自動連携ツール「モールコネクター」を導入したと発表した。これにより、キタムラはネットショップを出店している楽天市場、ヤフーショッピング、アマゾンとの連携を開始した。

モールコネクターは、ショッピングモールサイトと自社ECサイトや基幹システム間で、API（アプリケーションプログラミングインタフェース）を通じて情報の受け渡しを行うサービス。

キタムラネットショップは、店舗の商品情報や在庫情報を別々に管理しなければならなかったため、販路を拡大するにつれて連携や運用コストが課題となっていたが、モールコネクターを導入したことで、各モールの在庫・商品情報を一元管理、自動連携できるようになった。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/189855>

Copyright © 2019 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.